

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-8	中学校	音楽科	音楽 (器楽合奏)	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	器楽 773	<b>中学器楽 音楽のおくりもの</b>		

## 1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「**教育の目標 (教育基本法第二条の第1～第5号)**」と、**学習指導要領に示された目標**を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。

[共通事項] を窓口<sup>①</sup>に音楽を捉えながら、器楽 (リコーダー、ギター、和楽器) による音楽活動を展開することをねらいとし、生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、**幅広い知識と教養を身に付け**、合わせて演奏する活動を通して、**自他の敬愛と協力を重んずること**などを考慮しました。

教科書前半は楽器の基礎的な知識や奏法をまとめた「**演奏の仕方を身につけよう**」、後半はアンサンブルを中心とした「**合わせて演奏しよう**」「**名曲旋律集**」とし、習得した知識・技能を活用できるように設定しました。



リコーダーは、アルト及びソプラノを用い、どちらでも学習の展開ができるように配慮しました。「**演奏の仕方を身につけよう**」では、基礎的な奏法を説明し、「**合わせて演奏しよう**」「**名曲旋律集**」では、学校の実態に応じて取り扱えるよう、編曲・構成に配慮した教材を掲載しました。また、創作活動と結び付け、学習を広げられるように工夫しました。



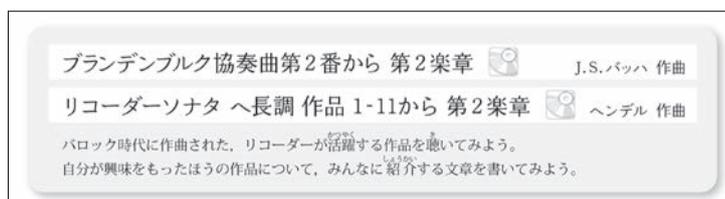
創作と結び付けた教材

「**演奏の仕方を身につけよう**」の最初に取り組む「リズム de ゴー」



「音のスケッチ オリジナルのリズム de ゴー」で**創作と結び付けて学習を広げる**

「**演奏の仕方を身につけよう**」のまとめとして、**表現と鑑賞の領域を横断する教材**「ブランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章」を扱った他、「**合わせて演奏しよう**」では、アルト二部合奏による「もみじ」「故郷 (ふるさと)」など、平易で取り組みやすい教材を掲載しました。



表現と鑑賞の領域を横断する教材

## ギター

ギターは、主として**クラシック・ギター**を扱い、ふさわしい音色で旋律と和音を弾けるように**基本的な奏法**を説明している他、**タブ譜を併記**してその読譜にふれるなど、学校の実態に応じて取り扱えるように配慮しました。「合わせて演奏しよう」では、ストローク奏法を用いたフォーク・ギターとリコーダー、ベース（低音）による合奏を扱い、学習を広げる手立てとしました。

箏  
(こと)

しゅみせん  
三味線

しのぶえ  
篠笛

たいこ  
太鼓

しゃくばち  
尺八

和楽器については、**箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八**を扱い、箏や三味線の読譜には、**五線譜と併せて縦譜や文化譜**を掲載し、学校の実態に応じて取り扱えるように配慮しました。また、「音のスケッチ」では、「荒城の月」の前奏創作、「一番星みつけた」の対旋律創作を扱った他、「合わせて演奏しよう」では、**箏二部、篠笛三部、三味線二部**などによる合奏を、「名曲旋律集」では歌唱共通教材の中から、「赤とんぼ」「花の街」を箏で取り組めるようにするなどの配慮をしました。更に和楽器の歴史を理解する手立てとして「日本の楽器と音楽」「さまざまな横笛」といった資料ページを設定しました。

五	四	五	五
ハ	ニ	ハ	ハ
セ	三	セ	セ
ハ	ニ	ハ	ハ
九	六	九	九
ハ	ニ	ハ	ハ
セ	三	セ	セ
ハ	ニ	ハ	ハ
九	六	九	九
ハ	ニ	ハ	ハ
セ	三	セ	セ
ハ	ニ	ハ	ハ
九	六	九	九

### 音のスケッチ

平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう

**活1 動**  
「荒城の月」の歌詞の内容や、感じ取った曲想に合った表現をイメージして、2小節の前奏をつくろう。できあがったら弦名を記録しておこう。

**活2 動**  
前奏を1回繰り返して演奏し、それに続けて「荒城の月」を弾きながら歌ってみよう。

**活3 動**  
表現したかったイメージをまとめ、発表しよう。

箏

←

「音のスケッチ」  
例;p.37「荒城の月」の前奏創作（箏）

## 2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。

☆生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように、**幅広い知識と教養を身に付けられる構成・内容**としました。  
☆生徒一人一人が**個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培う**ように配慮しました。

### 構成・内容

☆**表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす**ことができるように、**体系的な構成・内容**としました。  
☆**音楽活動を通して、音や音楽への興味・関心を養い、生涯にわたって音楽に親しんでいける**ように配慮しました。

☆**合わせて演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるもの**を精選しました。  
☆**我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する手立てとなる**ように、歌唱共通教材や鑑賞教材としても親しまれている楽曲について考慮しました。

### 教材の選択

☆教材は時代や曲種等に偏りなく、幅広いジャンルの中から、**親しみやすかつ学習指導要領の各指導事項に即したもの**を精選しました。  
☆**楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けられる楽曲**について考慮しました。

### 3. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>With My Heart 奏でる喜び (巻頭)</p> <p>制作現場を訪ねて</p> <p>With My Heart 心をこめて (p.98)</p>	<p>○音楽家からの多様なメッセージを掲載し、生徒の豊かな情操の育成に配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</p> <p>○演奏家による言説が、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づいている点を重視しました。〈第3号〉</p>	<p>○巻頭口絵, p.98 (With My Heart )</p> <p>○巻頭口絵 (制作現場を訪ねて)</p> <p>○p.98</p>
<p>演奏の仕方を 身につけよう</p>	<p>○生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取りながら表現するための基礎的な技能が身に付くように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○身体的に無理なく健康やかに楽器を演奏できるように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</p> <p>○合わせて演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。〈第3号〉</p> <p>○大震災復興記念事業から生まれた作品を演奏することで、生命を尊び環境の保全を意識する手立てとしました。〈第4号〉</p> <p>○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。〈第5号〉</p> <p>○演奏家が和楽器の魅力を語り、和楽器の特徴を感じ取る手立てとしました。〈第5号〉</p> <p>○和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるように配慮しました。〈第5号〉</p>	<p>○p.4～47, p.50～63</p> <p>○p.5, 20, 32, 40, 50, 56～59, 62</p> <p>○p.4～47, p.50～63</p> <p>○p.4～47, p.50～63</p> <p>○p.60～61</p> <p>○p.14, 34, 36, 45</p> <p>○p.30, 40, 54, 62</p> <p>○p.30～47, p.50～63</p>

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
合わせて演奏しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取りながら表現するための基礎的な技能が身に付くように配慮しました。〈第1号〉</li> <li>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</li> <li>○合わせて演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。〈第3号〉</li> <li>○美しい自然をイメージして演奏することで、環境の保全を意識する手立てとしました。〈第4号〉</li> <li>○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。〈第5号〉</li> <li>○和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるように配慮しました。〈第5号〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○p.64～93</li> <li>○p.64～93</li> <li>○p.64～93</li> <li>○p.68～69</li> <li>○p.64～65</li> <li>○p.67～69, p.80～87, p.90～91</li> </ul>
名曲旋律集	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取りながら表現するための基礎的な技能が身に付くように配慮しました。〈第1号〉</li> <li>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</li> <li>○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。〈第5号〉</li> <li>○和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるように配慮しました。〈第5号〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○p.94～97</li> <li>○p.94～97</li> <li>○p.97</li> <li>○p.97</li> </ul>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い知識を身に付けられるように配慮しました。〈第1号〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○p.48～49, p.99, 巻末口絵</li> </ul>



# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-8	中学校	音楽科	音楽 (器楽合奏)	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	器楽 773	<b>中学器楽 音楽のおくりもの</b>		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ○基本的な構成と趣意

本教科書では、学習指導要領の目標及び内容を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。【共通事項】を窓口<sup>①</sup>に音楽を捉えながら、器楽による音楽活動を展開することをねらいとし、前半は楽器の基礎的な知識や奏法をまとめた「演奏の仕方を身につけよう」、後半はアンサンブルを中心とした「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」で構成しました。器楽表現と鑑賞の領域を横断した教材や、器楽と創作の分野を結び付けた教材を適宜配しました。

### ☆ 演奏の仕方を身につけよう

リコーダー

基礎的な奏法を身に付けるとともに、曲にふさわしい音色やフレージング、アーティキュレーションを生かした奏法などを学習します。「リズム de ゴー」(p.6～7)や「ブランデンブルク協奏曲第2番から」(p.18)は、創作(「音のスケッチ」)や鑑賞の活動と結び付けて学習を広げます。

ギター

主としてクラシック・ギターを用いて学習します。楽器の特徴を理解し、ふさわしい音色で旋律と和音を弾けるように活動を促します。タブ譜の読譜にもふれています。

箏  
(こと)

篠笛

三味線

太鼓

尺八

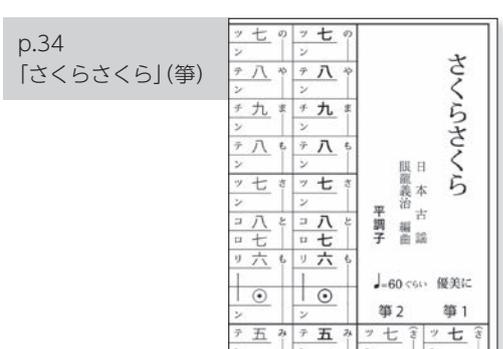
箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八の和楽器の中から、第1学年から第3学年までの間に1種類以上を扱い、音色や響き、奏法の特徴を捉えながら演奏できるようにしました。「『荒城の月』の前奏をつくってみよう」(p.37)や「さくらさくら」(p.34)「寄せの合方」(p.46)は、創作(「音のスケッチ」)や鑑賞の活動と結び付けて学習を広げます。



p.7「オリジナルのリズム de ゴー」



p.28「ラ・クンパルシータ」  
(タブ譜の読譜)



p.34  
「さくらさくら」(箏)

## ☆ 合わせて演奏しよう



「Let's Play !」は、アルト・リコーダーの二部合奏による「もみじ」「故郷（ふるさと）」など、比較的平易で親しみやすい楽曲を合奏曲に編曲し、「演奏の仕方を身につけよう」で習得した技能を生かし、声部の役割と全体の響きとの関わりを意識しながら表現活動を行います。



「Let's Try !」は、「Let's Play !」よりも難易度の高い教材を集め、生徒は更に達成感を味わえ、学習を広げることができるコーナーです。リコーダー二部及び三部、箏二部、三味線二部、自由な楽器選択、リコーダーと和楽器、体を使った打楽器といった多様な編成で表現活動を行います。

## ☆ 名曲旋律集

教材は、鑑賞教材や歌唱共通教材としても親しまれている楽曲から精選しました。リコーダーや箏などを用いて、「演奏の仕方を身につけよう」で習得した技能を生かした表現を実践します。

## ☆ 資料

巻頭口絵及びp.98の「With My Heart」では、それぞれの楽器の名手から中学生へのメッセージを掲載しました。

p.48～49には和楽器の歴史を俯瞰する「日本の楽器と音楽」と雅楽や能、歌舞伎で用いる笛全般を取り上げた「さまざまな日本の横笛」を、p.99及び巻末口絵と巻末には、生徒が必要に応じて確認できるよう、「リコーダーの運指表」「ギター&キーボードコード表」「いろいろな用語、記号」を掲載しました。



p.98の「With My Heart」↑  
(中学生へのメッセージ)

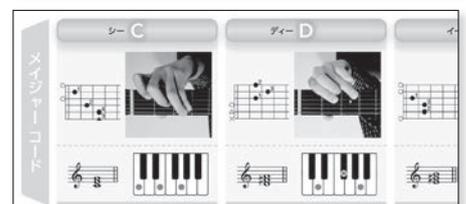
## ○その他の特色

## ☆ 授業に役立つ資料の充実

AB変型判を採用し、楽譜や写真、その他の必要な情報を見やすくすると同時に、授業に役立つ資料などを充実させました。

日本の楽器と音楽 (p.48) …雅楽の楽器を起点に、箏、三味線、尺八、太鼓、笛といった和楽器の変遷を、折込ページを用いて、豊富な写真資料や図版で解説し、生徒が興味をもって学習できるようにしました。

ギター&キーボードコード表 (巻末口絵) …37種のコードを譜例で示し、それらに対応するギターのダイアグラムとキーボードの位置に加え、ギター奏者が実際にコードを押さえている写真を掲載しました。p.24～29のコードの学習を広げる手立てとしました。



## ☆ 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

### ユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザインは第三者機関による審査及び認証を受けています。

### 環境への配慮

教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

## 2. 対照表 (◎…主に取り扱う指導事項, ○…取扱いが可能な指導事項)

### 【第1学年】

教材	該当箇所	A表現								B鑑賞			共通事項				
		(1)歌唱		(2)器楽			(3)創作		(4)教材			(1)鑑賞		(2)教材	(1)		
		ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ (ア)		ア	イ		ア	イ	
		歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。	曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。	曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。	楽器の特性や音色、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。	声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。	言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。	言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。	我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒にとって平易で親しみやすいものであること。	我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語の持つ美しさを味わえるもの。	我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語の持つ美しさを味わえるもの。	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりを感じ取って聴く、言葉の説明などをして、音楽のみならず美しさや味わいなどを説明すること。	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりを感じ取って聴く、言葉の説明などをして、音楽のみならず美しさや味わいなどを説明すること。	芸術と関連付けて、鑑賞すること。	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。	鑑賞教材は、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切なものを取り扱う。	音楽を形づくっている要素や要素同士
リズムdeゴー	p.6～7			◎												◎	○
オリジナルのリズムdeゴー	p.7			◎			○									◎	○
しりとり歌	p.8			◎												◎	○
喜びの歌	p.8		○	◎												◎	○
メリーさんの羊	p.9			◎	○				○							◎	○
オーラ・リー	p.9		○	◎	◎				○							◎	○
うみ	p.10			◎	◎				○							◎	○
アメージング・グレイス	p.10		○	◎	○				○							◎	○
ロング・ロング・アゴー	p.11		○	◎	○				○							◎	○
ソナタ K.331	p.11		◎	○	○				○							◎	○
サムのひとりごと	p.12			◎												◎	○
こげよマイケル	p.13		○	◎	◎	○			○							◎	○
エーデルワイス	p.13		○	◎	◎	◎			○							◎	○
浜辺の歌	p.14	○		◎	○				○		○					◎	○
オーロラ	p.14			◎	◎	○										◎	○
星に願いを	p.15			◎	○				○							◎	○
大きな古時計	p.16～17			◎	○	○										◎	○
ブランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章	p.18			◎	○	○			○							◎	○
ブランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章 (鑑賞)	p.18										○	○	○			◎	○
リコーダーソナタへ長調 作品1-11から 第2楽章	p.18										○	○	○			◎	○
アニー・ローリー	p.23			◎					○							◎	○
Good Morning to All	p.23		○	◎					○							◎	○
カリンカ	p.25		○	◎	○				○							◎	○
エチュード	p.26		○	◎					○							◎	○
マルセリーノの歌	p.27		○	◎	○				○							◎	○
ラ・クンパルシータ	p.28～29			◎	○	○			○							◎	○
練習曲 1	p.33				◎	○										◎	○
練習曲 2	p.33				◎	○										◎	○
さくらさくら (箏)	p.34～35	○		◎	○				○	○						◎	○
さくら変奏曲	p.34										○		○			◎	○
荒城の月	p.36～37	○		◎	○				○	○						◎	○
荒城の月の前奏をつくってみよう	p.37	○		◎	○		○	○		○						◎	○
もののけ姫	p.38～39		○	◎	○	○			○							◎	○
さくらさくら (三味線)	p.45	○		◎					○	○						◎	○
長唄「勸進帳」から 寄せの合方 (鑑賞)	p.46										○		○			◎	○
長唄「越後獅子」から さらしの合方	p.46										○		○			◎	○
長唄「勸進帳」から 寄せの合方	p.47		○	◎	○				○							◎	○
たこたこあがれ	p.51				◎				○							◎	○
ひらいたひらいた	p.52				◎				○							◎	○
さくらさくら (篠笛)	p.52		○	◎					○							◎	○
子守歌	p.53		○	◎					○							◎	○
基本のリズムを打ってみよう	p.59				◎											◎	○
干の海響 望の章	p.60～61		○	◎	○											◎	○
もういいかい	p.63				◎											◎	○
もみじ	p.64	○		◎	○					○						◎	○
故郷	p.65	○		◎	○	○				○						◎	○

(2.対照表【第1学年】前頁からの続き)

シチリアーナ (「リュートのための古風な舞曲とアリア」から)	p.66			○	○	○				○							○	○	
荒城の月 (第2部)	p.67			○	○	○				○								○	○
一番星みつけた/夜空を見上げて	p.68～69			○	○	○		○	○	○								○	○
カントリー・ロード	p.70～71	○	○	○	○	○												○	○
木星 (組曲「惑星」から)	p.72～73			○	○	○				○								○	○
聖アントニー・コラール (「ハイドンの主題による変奏曲」から)	p.74			○	○	○				○								○	○
キエフの大門 (組曲「展覧会の絵」から)	p.75			○	○	○				○								○	○
風のとおり道	p.76			○	○	○				○								○	○
風たちの会話	p.77			○	○	○				○								○	○
春 (四季) から)	p.78			○	○	○				○								○	○
メヌエット	p.79			○	○	○				○								○	○
さくらさくら (第2部)	p.80～81,84			○	○	○				○								○	○
こきりこ節	p.82～83,85			○	○	○				○								○	○
かんつばき	p.86～87			○	○	○				○								○	○
ライディーン	p.88～89			○	○	○				○								○	○
からくり絵巻	p.90～91			○	○	○				○								○	○
ジョイフルコンビネーション1, 2	p.92～93			○	○	○				○								○	○
シューベルトの子守歌	p.94			○	○	○				○								○	○
連作交響詩「我が祖国」から ブルタバ (モルダウ)	p.94			○	○	○				○								○	○
「四季」から 冬 第2楽章	p.94			○	○	○				○								○	○
組曲「展覧会の絵」から プロムナード	p.95			○	○	○				○								○	○
交響曲第5番 八短調から 第4楽章	p.95			○	○	○				○								○	○
交響組曲「シェラザード」から 第3楽章	p.95			○	○	○				○								○	○
ポレロ	p.96			○	○	○				○								○	○
「アイーダ」第2幕 第2場から 凱旋の行進曲	p.96			○	○	○				○								○	○
赤とんぼ	p.97	○		○	○	○				○		○						○	○
花の街	p.97	○		○	○	○				○		○						○	○

【第2学年及び第3学年】

教材	該当箇所	A表現								B鑑賞				共通事項					
		(1)歌唱		(2)器楽			(3)創作		(4)教材			(1)鑑賞		(2)教材		(1)			
		ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ (ア)		ア	イ		ア	イ			
		現を工夫して歌うこと。	歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を生かして歌うこと。	曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。	曲種にふさわしい表現を工夫して演奏すること。	曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。	楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。	言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。	表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のとまりを工夫しながら音楽をつくること。	我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒にとって平易で親しみのもてるものであること。	我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを感じ取れるもの。							
リズムdeゴー	p.6～7				○													○	○
オリジナルのリズムdeゴー	p.7				○			○										○	○
しりとり歌	p.8				○													○	○
喜びの歌	p.8			○	○						○							○	○
メリーさんの羊	p.9			○	○	○					○							○	○
オーラ・リー	p.9			○	○	○					○							○	○
うみ	p.10			○	○						○							○	○
アメージング・グレイス	p.10			○	○	○					○							○	○
ロング・ロング・アゴー	p.11			○	○	○					○							○	○
ソナタ K.331	p.11			○	○	○					○							○	○
サムのひとつごと	p.12			○	○						○							○	○
こげよマイケル	p.13		○	○	○	○					○							○	○
エーデルワイス	p.13		○	○	○	○					○							○	○
浜辺の歌	p.14	○		○	○						○		○					○	○
オーロラ	p.14			○	○	○					○							○	○
星に願いを	p.15			○	○						○							○	○
大きな古時計	p.16～17			○	○	○					○							○	○
ブランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章	p.18			○	○	○					○							○	○

(2. 対照表【第2学年及び第3学年】前頁からの続き)

ブランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章(鑑賞)	p.18											○	○	○	◎	○
リコーダーソナタへ長調 作品1-11から 第2楽章	p.18											○	○	○	◎	○
アニー・ローリー	p.23			◎					○						◎	○
Good Morning to All	p.23			○	◎				○						◎	○
カリンカ	p.25			○	○	◎			○						◎	○
エチュード	p.26			○	◎				○						◎	○
マルセリーノの歌	p.27			○	○	◎			○						◎	○
ラ・クンパルシータ	p.28～29			◎	○	○			○						◎	○
練習曲1	p.33				◎	○									◎	○
練習曲2	p.33				◎	○									◎	○
さくらさくら(箏)	p.34～35	○		○	○	◎			○	○					◎	○
さくら変奏曲	p.34											○		○	◎	○
荒城の月	p.36～37	○		◎	○				○	○					◎	○
荒城の月の前奏をつくってみよう	p.37	○			◎		○	○	○	○					◎	○
もののけ姫	p.38～39			○	○	◎			○						◎	○
さくらさくら(三味線)	p.45	○		○	◎				○	○					◎	○
長唄「勸進帳」から 寄せの合方	p.46											○		○	◎	○
長唄「越後獅子」から さらしの合方	p.46											○		○	◎	○
長唄「勸進帳」から 寄せの合方	p.47			○	○	◎			○						◎	○
たこたこあがれ	p.51				◎				○						◎	○
ひらいたひらいた	p.52				◎				○						◎	○
さくらさくら(篠笛)	p.52			◎	○				○						◎	○
子守歌	p.53			◎	○				○						◎	○
基本のリズムを打ってみよう	p.59				◎				○						◎	○
千の海響 望の章	p.60～61			○	○	◎			○						◎	○
もういいかい	p.63				◎				○						◎	○
もみじ	p.64	○		○	○	○			○	○					◎	○
故郷	p.65	○		◎	○	○			○	○					◎	○
シチリアーナ(「リュートのための古風な舞曲とアリア」から)	p.66			○	○	◎			○						◎	○
荒城の月(箏二部)	p.67			○	○	◎			○						◎	○
一番星みつけた/夜空を見上げて	p.68～69			○	○	◎	○		○						◎	○
カントリー・ロード	p.70～71	○	○	◎	○	○			○						◎	○
木星(組曲「惑星」から)	p.72～73			○	○	◎			○						◎	○
聖アントニー・コラル(「ハイドンの主題による変奏曲」から)	p.74			○	○	◎			○						◎	○
キエフの大門(組曲「展覧会の絵」から)	p.75			○	○	◎			○						◎	○
風のとおり道	p.76			○	○	◎			○						◎	○
風たちの会話	p.77			○	○	◎			○						◎	○
春(「四季」から)	p.78			○	○	◎			○						◎	○
メヌエット	p.79			○	○	◎			○						◎	○
さくらさくら(箏二部)	p.80～81, 84			○	○	◎			○						◎	○
こきりこ節	p.82～83, 85			○	○	◎			○						◎	○
かんつばき	p.86～87			○	○	◎			○						◎	○
ライディーン	p.88～89			○	○	◎			○						◎	○
からくり絵巻	p.90～91			○	○	◎			○						◎	○
ジョイフルコンビネーション1, 2	p.92～93			○	○	◎			○						◎	○
シューベルトの子守歌	p.94			◎	○				○						◎	○
連作交響詩「我が祖国」から ブルタバ(モルダウ)	p.94			◎	○				○						◎	○
「四季」から 冬 第2楽章	p.94			◎	○				○						◎	○
組曲「展覧会の絵」から プロムナード	p.95			◎	○				○						◎	○
交響曲第5番 八短調から 第4楽章	p.95			◎	○				○						◎	○
交響組曲「シェエラザード」から 第3楽章	p.95			◎	○				○						◎	○
ボレロ	p.96			◎	○				○						◎	○
「アイーダ」第2幕 第2場から 凱旋の行進曲	p.96			◎	○				○						◎	○
赤とんぼ	p.97	○		◎	○				○	○					◎	○
花の街	p.97	○		◎	○				○	○					◎	○

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-8	中学校	音楽科	音楽（器楽合奏）	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 ―― 教出	器楽 773	<b>中学器楽 音楽のおくりもの</b>		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
□絵②	制作現場を訪ねて	2	○内容の取扱い 2-(7) -イ <b>各学年の「A表現（2）器楽」の指導</b> (上記の項目ではコンピュータの活用について記されているが、本コーナーでは、コンピュータを用いて制作された音源が、スタジオ・レコーディングによって収録された音源とミックスされ、作品として完成するまでを解説した。)
49-①	手作りの横笛	2	○内容の取扱い 2-(2) <b>各学年の「A表現（2）器楽」の指導</b> (上記の項目では、和楽器の指導については、3学年間を通じて1種類以上の楽器の表現活動について記されているが、本コーナーでは、工作による和楽器（横笛）づくりを取り扱った。)

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 3)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容